

AIオンデマンド交通『ちょいのりタクシー』 ～暮らしを豊かにする『共有交通』～

WILLER株式会社



WILLER GROUP

国内8社、海外5社のグループ会社で構成され、移動を通して新たな体験を届けることで、世の中の豊かさを増やしていくことを目指しています。

WILLER株式会社

マーケティングとテクノロジーにより新たなモビリティ・サービスを創造する
予約サイト「WILLER TRAVEL」の運営

日本国内事業

アジア・ASEAN MaaS事業

Bus Business Unit

**WILLER
EXPRESS**
株式会社

バス事業



Train Business Unit

**WILLER
TRAINS**
株式会社

鉄道事業



Travel Business Unit

**クールジャパン
トラベル**
株式会社

ツーリズム事業

日本のサブカルチャーや
アニメを活用したツーリズム
の開発
※KADOKAWAとの合併



MaaS Business Unit

**Community
Mobility**
株式会社

mobi事業 ※KDDIとの合併



**Mobility
Service**

MaaS事業 自動運転



WILLERS
(シンガポール)

MaaSプラットフォーム DX
DX
モビリティサービス

ASEANヘッドクォーター

**国光威楽
仮期旅行社**
(台湾)

DX
モビリティサービス



**WILLER
VIETNAM**
(ベトナム)

DX
モビリティサービス
BPO/運輸安全コンサル

WILLER VTI
(ベトナム)

システム開発



MaiLinh-WILLER
(ベトナム)

都市間バス
レンタカー



今、地域に必要とされている移動とは？

[都市]

[地方]

社会



子育て不安・働き方改革



高齢化・独居老人



少子化・教育格差

交通



交通渋滞・環境問題



運転手不足・ドライバー高齢化



公共交通利用者減少・マイカー依存

地域ごとの課題（目的）とニーズにあわせた『まちづくり支援サービス』

既存交通をシームレスにつなぐ

暮らしの足

市内交通

都市間交通

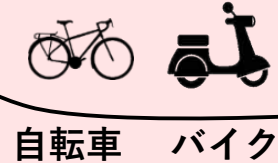
公共交通

ちょっとした暮らしの足
ラストマイルの移動サービス

都市内
(近距離)

都市間
(中長距離)

セルフ
ドライブ



自転車 バイク



マイカーのちょい乗り



タクシー



市内バス



ローカル鉄道



マイカー



飛行機



高速バス



鉄道

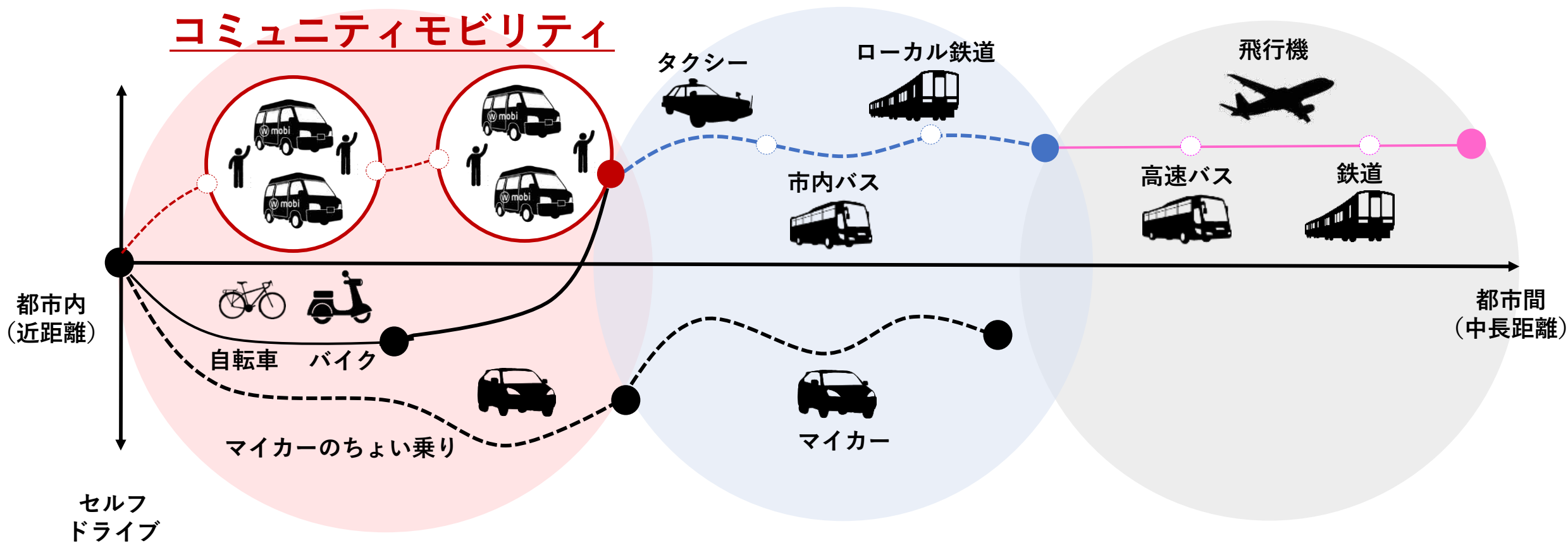
移動総量が増加の可能性あり

既存交通をシームレスにつなぐ

「線の移動」にシームレスに繋がる「面の移動」が必要、近距離に新たな移動サービスが求められている

公共交通

コミュニティモビリティ



マイカーと同等以上のシームレスな社会交通システムをつくり
すべての人の移動格差をなくす

地域ごとのワンマイルオンデマンドが加わることによる期待効果とは？

地域ひとりひとりのニーズに合わせてくれる **自分中心の移動サービス** が生まれ
移動の自由度が上がり、**まちの経済活性化**につながる。

効果①

『**移動の機会**』を増やす

ストレスのないワンマイル移動が
外出の機会を増やす

効果②

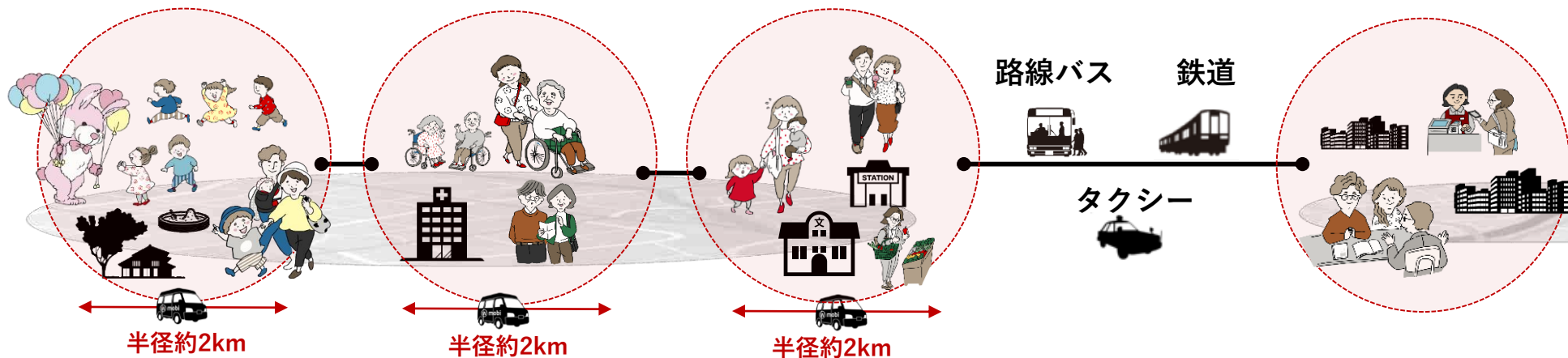
『**移動の目的**』を増やす

公共施設や商業施設の
来客が増えまちが活性化する

効果③

『**移動の総量**』を増やす

自宅とバス停や駅を結ぶワンマイル
移動が公共交通の利便性を向上する



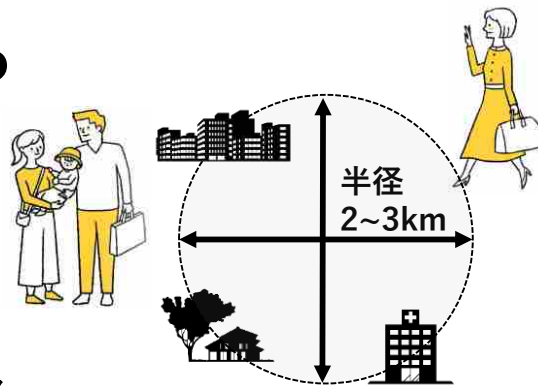


mobi サービスポイント

ポイント#1

徒歩や自転車に代わる
近距離移動

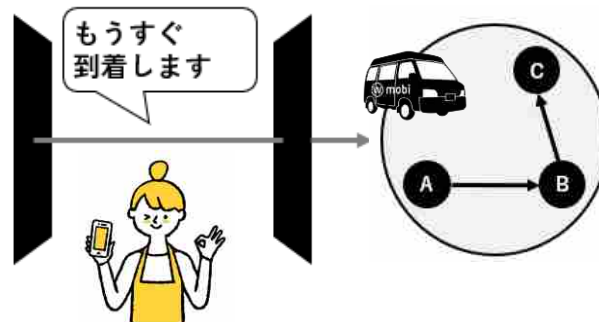
自宅から約2km圏の
近距離回遊型移動サービス



ポイント#2

アプリでも、電話でも
呼べば来る

エリア内であれば
どこでも乗降が可能



ポイント#3

定額乗り放題
面倒な都度払いが不要

1人目 お父さん  ¥5,000	+	2人目 お母さん  ¥500	+	3人目 こども  ¥500
--	---	--	---	---

= 家族3人みんなで ¥6,000/30日 / ひとりあたり ¥2,000/30日

交通費の心配なく気軽に外出ができる

事例紹介① 富良野市：2021年11月22日～12月21日実証実験実施



子育て家族・高齢者の外出機会を創造

- ・ 利用者の**5割**が**10～50代**（子育て家族）
- ・ 利用者の**7割以上**が**女性**（主婦の利用が多い）
- ・ 毎日の買い物、駅までの送迎の代替で利用
- ・ 7割が**週1回以上利用**（内1.3%は毎日利用）

〔効果〕

商業施設や病院への移動が多く、若者から高齢者まで**幅広い層の生活の足**として利用。
今後の子育て世代の移住者やポストコロナの観光者の移動にも期待。

子育て世帯が利用（買い物、習い事、通学）

免許をお持ちでない高齢者や学生でも移動が楽に

広さ

2km × 2km

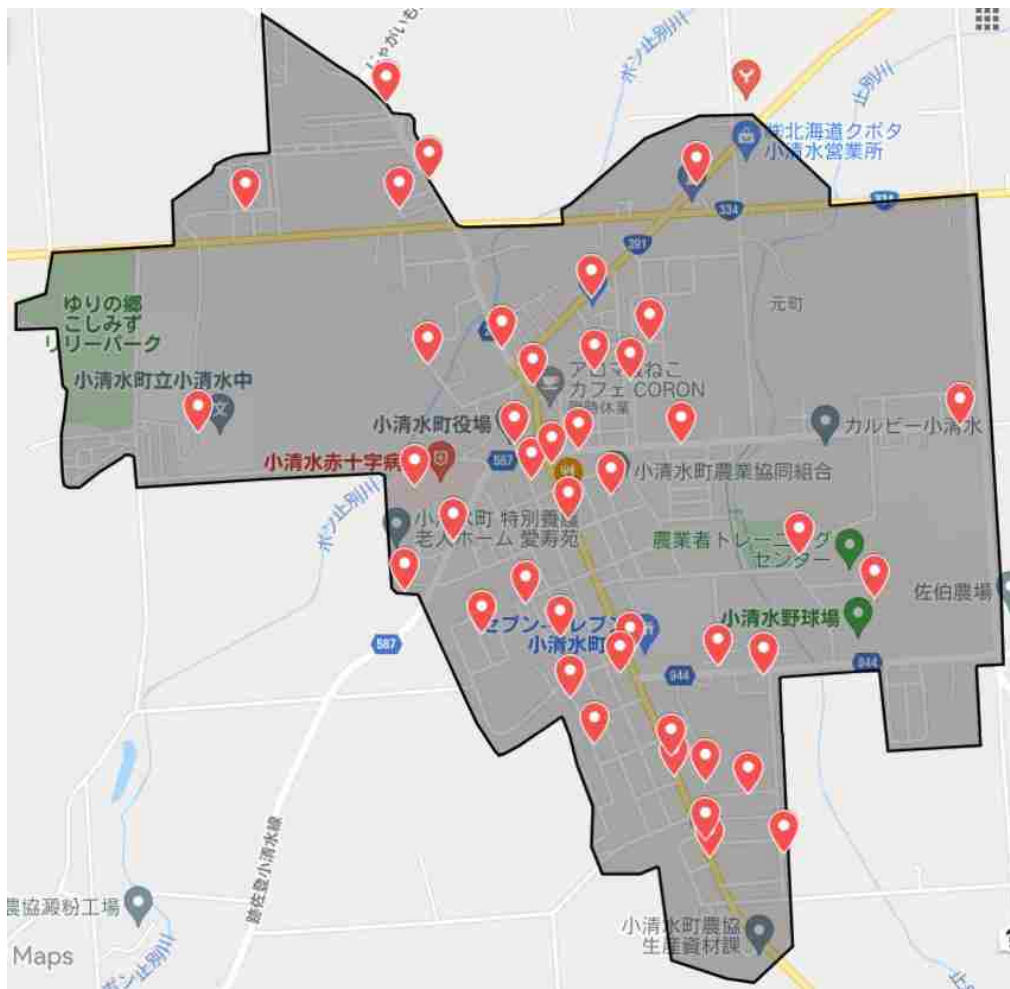
人口 （エリア内）

約**14,000**人

世帯数 （エリア内）

約**7,300**世帯

事例紹介② 小清水町：2021年12月15日～1月31日実証実験実施



交通空白地帯に導入し、公共交通の移動を創造

- ・ 利用者の**4割**が**10～50代**（子育て家族）
- ・ 利用者の**6割以上**が**女性**（主婦の利用が多い）
- ・ 病院や保育園への送迎、まちの人と触れ合う集会場や入浴施設の利用が多い

〔効果〕

マイカー通勤の代替えや、施設への移動など**生活の足**となり、また長距離移動の**ハブ&スポーク**を実現。**公共交通の移動総量**が増えた。

広さ

1.7 km × 1.7 km

人口 (エリア内)

約**2,700**人

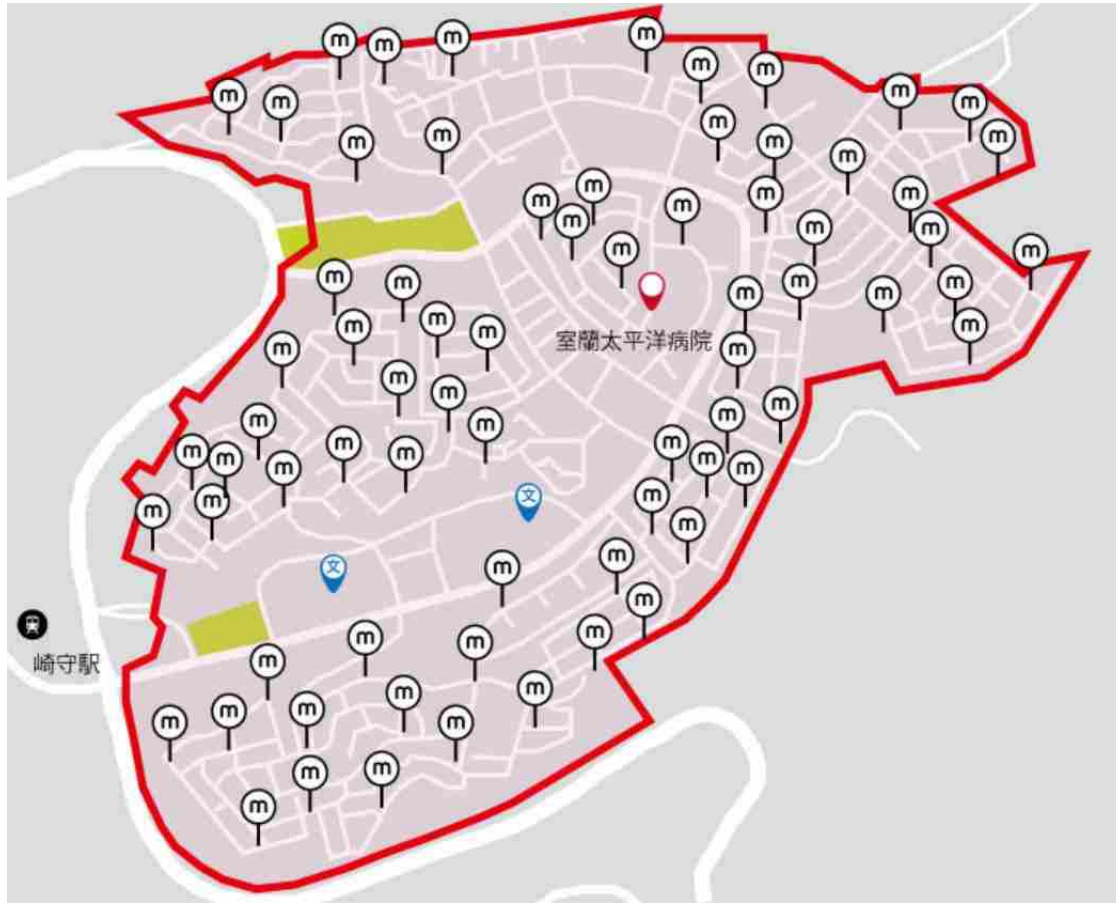
世帯数 (エリア内)

約**1,400**世帯

免許をお持ちでない高齢者や学生でも移動が楽に

子育て世帯も利用（買い物、習い事、通学）

事例紹介③ 室蘭市：2021年11月8日～12月3日実証実験実施



高齢者のお出かけ支援

- ・ **70代以上の高齢者が8割**（高齢化した団地密集地）
- ・ 毎日の買い物、行政関連機関、通院に利用
- ・ エリア（団地）に住む約15%が利用
- ・ 半数が**週1回以上利用**（内5%は毎日利用）

〔効果〕

地域住民の暮らしにあった、その地域に必要なサービスを住民自らが形にできる参加したくなる仕組みを自治体や地元企業と構築。

いつもより多く買い物をした

子育て世帯も利用（買い物、習い事、通学）

広さ

1.7 km × 1.8 km

人口 （エリア内）

約**5,800**人

世帯数 （エリア内）

約**3,200**世帯

事例紹介④ 東京都渋谷区：2021年7月1日～サービス開始

子連れでも楽に移動ができる

- ・ 30～40代の子育て世帯が5割
- ・ 働く子育てママの利用が多い傾向
(未就学児・小学生の子を持つ親)

[効果]

公共交通が充実している都市部でもmobiを利用することで、毎日の生活移動がより楽になり、以前より行動範囲が広がった。

子連れの外出が苦ではなくなった

離れた場所まで出掛けるようになった

子供ひとりで習い事に行け時間に余裕ができた

外出の頻度が増えた



広さ

1.5km × 2.5km

人口 (エリア内)

約32,500人

世帯数 (エリア内)

約20,000世帯

事例紹介⑤ 京都府京丹後市：2021年6月30日～サービス開始



暮らしの足の新たな選択肢

- ・ 30～40代の子育て世帯が5割
- ・ 家族での飲食や買い物、通勤通学に利用
- ・ 住民以外の外来者の利用が増加傾向

[効果]

mobiを利用することで、マイカーを使う回数が減った。地方でも都市と同程度の配車数が見込め、経済的にも導入が可能。

家族での外食が増えた

通勤や送迎にマイカーを使う頻度が減った

通勤や買い物に便利

高校生や高齢者が田舎でも移動できて嬉しい

広さ

4.5km × 3.3km

人口 (エリア内)

約10,000人

世帯数 (エリア内)

約4,000世帯